

## ご挨拶

桜の季節となり、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

あの3・11東日本大震災から早くも一年が過ぎました。

被災当初から皆様方には、お見舞い、激励、慰問など有形無形のご支援を頂き、誠に有難うございます。

絶望感、喪失感、無力感で打ちひしがれていた時期に支えて頂き、心から感謝を申し上げます。

この12カ月間は心が折れそうになったり、気持ちがあちこちに揺れ動いたりすることが多々ありましたが、おかげさまで少しずつ立ち直って来ております。

しかし、南三陸町ではその後の復旧方針はまだ具体的に決まっておらず、私たちが住んでいた地区は地盤沈下のため、大潮の時には今でも30センチくらい冠水しております。

こんな状況の中で本田記念あおいクリニックの再建について検討いたしました。が、現地での再開は困難と判断せざるを得ませんでした。

昭和28年10月の開院以来、約59年間にわたり宮城県北部の地域医療の一環を担ってまいりました本田記念あおいクリニックは、不本意ながら平成24年3月31日をもって閉院することに決定いたしました。

ただ長い間皆様にご支持を頂き、大過なく診療が出来たことを、今は充実感が一杯の気持ちで嬉しく思います。

そして、医療法人社団葵会はこれからの復旧、復興を目指して、仙台市青葉区北目町3番9号において「一番町南診療所」を設立して、平成24年5月7日から新たに出発いたします。

これに伴いまして、理事長、院長職を本田剛彦から本田英彦に交代して、新しい知見、技術を装備した医療施設に生まれ変わります。

東日本大震災では私たちの人生を根底から変えるほど、多大な影響を受けました。これにめげずに「人間万事塞翁が馬」を期待して、前へ進みます。

今後ともご指導、ご鞭撻と末永くのご交誼をよろしくお願い申し上げます。

平成24年4月吉日

医療法人社団葵会 理事長 本田剛彦